

## 取扱説明書



# TUBE CONDENSER MICROPHONE T-1

Vacuum Tube Condenser Microphone

JP

JP

安全にお使いいただく  
ために**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。製品内部には手を触れず、故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。



使用されている真空管は非常に敏感な部品ですので、強い衝撃や機械的な干渉を受けないよう十分ご注意ください。お客様の過失による損傷は保証の対象とはなりません。念のために、同タイプ (12AX7) の真空管を予備としてご用意ください。



T-1 は、湿気に非常に敏感です。マイクおよび PSU-T パワーサプライは、お風呂場や洗濯機、プールのような水気のある場所では決して使用しないでください。ヴォーカルレコーディングの際にはマイクの内部機構を水分から保護するために、必ず付属のポップシールドを使用してください。



電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。製品内部には手を触れないでください。

二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。

T-1 は、必ず付属されているパワーサプライのみに接続してください!



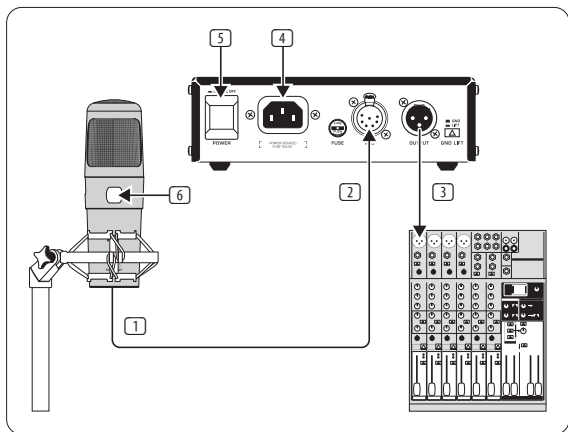
使用後には必ずマイクをマイクソケットから取り外し、柔らかい布で拭いた後に付属のケースに格納してください。この際、乾燥剤の入った袋をマイクの頭部に並べてケースに入れるのを忘れないでください。

---

## 限定保証

ご購入後は、新しい BEHRINGER 機器をぜひご登録ください。<http://behringer.com> にアクセスして、保証条件をご確認ください。

## 1. 概要図



- ① マイクを固定する
  - ② マイクと PSU-T を接続する
  - ③ PSU-T とミキサーを接続する
  - ④ 電源ケーブルを差し込む
  - ⑤ PSU-T のスイッチを入れる
  - ⑥ 真空管を暖める (ウォームアップ)
- 使用開始!

## 2. コントロールパネルと接続端子類

### 2.1 マイク

T-1 にスイッチを入れると、マイク側面部にある小さなディスプレイが赤く点灯します。

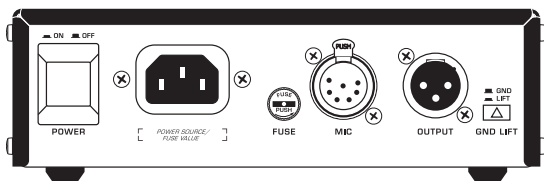
音声信号が大きすぎる場合は、T-1 側面部にある  $-20$  dB のアッテネーションを使用し、必要に応じて信号レベルを下げるすることができます。

マイクの下面部に備えられた XLR コネクターに PSU-T パワーサプライを接続してください。

### 2.2 パワーサプライ (電源供給)

付属の BEHRINGER PSU-T は、チューブプリアンプに必要な電圧を送るだけでなく、低周波帯域をカットする回路を備えています。これを起動させるには、装置前面部にある **LOW CUT** スイッチを押してください。

装置背面部にある **POWER** スイッチで電源を投入します。



さらに以下のものが備えられています:

- T-1 接続用の 7 ピン構成の XLR コネクター (MIC),
- 信号送信用の 3 ピン構成の XLR コネクター (OUTPUT),
- 信号のハムノイズを抑制するスイッチ (GND LIFT),
- 標準 IEC ケーブルコネクター
- ヒューズホルダー

◇ T-1 とパワーサプライの接続には、付属のケーブルを使用してください!

### 3. セットアップ

#### マイクの固定

マイクには、弾力性のあるショックマウントが付属しています。これは、マイクスタンドからの振動ノイズを吸収するという点で、慣例的なマイクスタンドよりも優れています。

マイクを固定するには、まず付属のショックマウントをマイクスタンドに取り付け、その上から T-1 をショックマウントの中へ装着してください。



#### 注意

◇ T-1 を吊り下げて使用する際は、このショックマウントは使用しないでください!

T-1 をマイクスタンドに固定して使用することもできます。その際は、マイクの下にあるスクリューアダプターを使用してください。

## ウォームアップ

T-1 は、基本的に PSU-T にスイッチを入れてから数秒で使用可能な状態となりますが、T-1 独特のサウンドをお楽しみいただくには、電源を入れてからしばらく時間を置いてください。そのため、マイクを使用する前に 30 分ほどマイクを「ウォームアップ」させることをお勧めします。

## 音量調整 / 基本音声の設定

ミキサーのマイクチャンネルに設けられたゲインコントローラーを、ピーク LED がまったく点灯しないか、ごくまれに点灯する程度に調整します。マイクチャンネルの EQ コントローラーは最初の状態では中央位置に設定しておきます。ローカットフィルターおよびレベルカットはオフにします。好みの音声が発生するようにマイクを移動させます。また、音源に対して様々な角度に防音壁を設置することも理想の音声の発生に役立つことでしょう。イコライザーやシグナルプロセッサは基本音声希望の状態に調整されてから必要に応じて接続します。

## 4. 指向特性

T-1 に使用されているカーディオイド特性のカプセルは器楽音、あるいはボーカルのレコーディングに最適です。カーディオイド特性は、レコーディング時に最も頻繁に使用される指向特性で、望ましくない反響音や背景音をカットします。

マイクを正しく設置調節する際は、BEHRINGER のロゴが録音元となる音源の方向に向かうようにしてください。

## 5. オーディオ接続

PSU-T の **OUTPUT** から増幅された信号を取り出す際は、以下のピン構成のバランス型マイクケーブルを使用してください: Pin 1 = Shield, Pin 2 = +, Pin 3 = -。PSU-T ののすべての接点は金メッキ加工されているため、ケーブル側にも金メッキコネクタの使用をお勧めします。

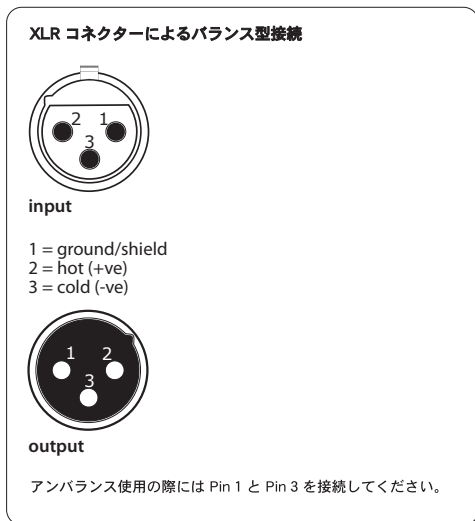


Fig. 5.1: XLR コネクター



## 6. 技術仕様

コンバーター形式	コンデンサー, 16 mm シングルダイアフラム
指向特性	カーディオイド
プリアンプ	真空管 (12AX7)
出力 (PSU-T)	バランス型 XLR コネクター (金メッキ)
オープンサーキット感度	-40 dBV (0 dBV = 1 V/Pa)
周波数帯域	20 Hz から 20 kHz
レベルアテニュエーション	-20 dB, 切替可能
ローカットフィルター	12 dB/oct. @ 100 Hz (切替可能)
最大入力音圧 (3% THD @ 1 kHz)	130 dB
ダイナミックレンジ	110 dB
定格インピーダンス	約 200 Ω
出カインピーダンス	>1 kΩ
動作電圧	電源アダプター BEHRINGER PSU-T

### 電源電圧 / ヒューズ

100-120 V~, 50/60 Hz	T 160 mA L 250 V
220-230 V~, 50/60 Hz	T 80 mA L 250 V
電源接続	標準 IEC 電源コネクター

### 寸法および重量

外形寸法	∅ 胴部 約: 68 mm, 長さ 約: 211 mm
質量 (正味重量)	約 1.1 kg (2.4 lbs)



We Hear You